

## 令和7年度 学校自己評価（年度末反省）

基本方針 安全・安心で生徒職員ともに元気な学校づくり

SDGsの理念を踏まえて、生徒の長所を引き出し地域社会に貢献する学校づくり

重点目標	具体的目標
<p>1 基本的な生活習慣を確立させるとともに、粘り強い指導で規範意識の醸成を図る。</p> <p>2 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組み、基礎基本の学力定着を図る。</p> <p>3 社会の担い手となるために、キャリア教育の一層の充実を図る。</p> <p>4 部活動や地域活動などへの積極的な参加を促すとともに、外部人材の活用や地域貢献を図りながら、本校の取組を中学校や地域に積極的に発信する。</p> <p>5 教職員間のコミュニケーションや連携を図り、多忙化解消や不祥事防止に努める。</p>	<p>(1) 生活指導 規範意識の醸成、明るく元気な集団の育成、厳しくも暖かく粘り強く ①基本的な生活習慣の確立      ②元気なあいさつ・返事 ③ルールの遵守、マナーの向上、TPOに応じた行動の確立、丁寧な言葉遣い ④身だしなみ指導の徹底 ⑤保護者との早めの連携 ⑥生徒の動向、多様化する生徒への対応の充実</p> <p>(2) 学習指導 基礎基本を徹底し、自ら学び、自ら高める態度を育成する ①授業規律の徹底      ②授業力の向上、授業改善      ③家庭学習の定着 ④「総合的な探究の時間」の指導プロセスの明確化とプログラム化 ⑤スクールエンジンの運用の充実</p> <p>(3) 進路指導 自分の持ち味を知り、夢を実現するための努力をさせる ①3年間を見通したキャリア教育の推進 ②「社会の担い手となること」を基本とした就職指導の充実 ③進学指導の充実と大学入試改革の研究</p> <p>(4) 部活動・特別活動・地域貢献活動 心と身体の鍛錬、成就感と達成感を体感 ①生徒の実態や活動状況を踏まえた部活動の整理や予算の見直しによる部活動の充実 ②生徒自ら参加する意識づくりと感動ある行事づくり ③生徒自らの企画運営による生徒会活動、委員会活動の充実 ④ボランティア活動等の地域連携・地域貢献の推進</p> <p>(5) 勤務時間の適正な管理及び長時間労働による健康障害の防止 ①職員の和による強固な協力体制 ②タイムリーな報告・連絡・相談による情報の共有化と業務の効率化 ③在校時間の縮減、ストレス解消、余暇時間の確保と活用による健康管理 ④日々の意識と声かけによる不祥事の防止</p> <p>(6) その他 ①清掃場所や清掃方法の工夫による環境美化 ②積極的な情報発信（ホームページ、インスタグラムのタイムリーな更新）や地域への広報 ③様々な場面を利用した知多半島内の中学や地域との連携の推進 ④同窓会との連携 ⑤自分の学校という思いを持ち、生徒募集回復のための知恵を出し合う</p>

担当	重点目標	具体的方策	評価	反省及び次年度の課題
総務	① P T A活動をより充実、活性化させる。	P T A活動の様子を保護者に向けて積極的に発信する。	C	・ P T A活動の様子を積極的に発信することはできなかった。保護者に多く参加していただける内容を考え、発信していきたい。
	② 実体に即した防災訓練を実施する。	大地震発災時を想定した具体的な訓練方法を検討する。	A	・ 避難の時に動けなくなる生徒やけがをして保健室に行く生徒などを設定し、生徒・教員とも考えて動く避難訓練が実施できた。次年度はさらに工夫し、訓練を実施したい。
教務	① 落ち着いた学習環境を作り、基礎基本の定着を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業規律の確保に努め、生徒が落ち着いて授業に向かう環境を作る。</li> <li>・ 生徒の学習意欲を喚起する内容の授業や課題を設定する。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業中の居眠りや私語、忘れ物等授業規律に反する事項があった場合は、教科担当が記録し、違反の数に応じて指導を行った。学期が進行するにつれ、違反する生徒が少なくなり、落ち着いた環境を整備することができた。</li> <li>・ 生徒の学習アンケートの結果から、学習意欲はあるが、それが家庭学習に結び付いていないことが見られた。I C T機器を効果的に活用し、学習意欲を高めるとともに、家庭学習できる環境を整えたい。</li> </ul>
	② I C T 機器を効果的に活用する方法、場面を考察する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業で積極的に I C T 機器を活用する。</li> <li>・ 教科主任者会で実践例を報告し、他教科と共有する。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒用タブレット端末を生徒棟へ移動したことで、授業での使用率が向上した。</li> <li>・ 教科主任者会で、各教科から実践例を報告してもらい、共有することで、I C T 機器を効果的に活用する場面を考察することができた。次年度も引き続き効果的な場面で積極的に活用したい。</li> </ul>
生徒指導	① 基本的な生活習慣の確立を図る。	欠席・遅刻を減少させる。授業に集中できるよう体調管理を意識させる。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 欠席や遅刻者への丁寧な声かけにより、欠席や遅刻数の大幅な減少が見られた。</li> <li>・ 基本的な生活習慣の確立まで至っていないため、次年度も継続して取り組んでいきたい。</li> </ul>
	② ルールの遵守、マナーの向上を図る。	ルール・マナーを遵守し、T P Oに応じた行動ができるよう促す。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ルールやマナーを守る意識の向上は見られたが、ルールやマナーを知らない生徒が多かった。</li> <li>・ ルールやマナーを教えていくことを今後も取り組んでいきたい。</li> </ul>
	③ 学校行事、部活動、地域貢献活動の活性化と充実を図る。	生徒が充実感・達成感を得られる工夫をする。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行事後のアンケートや学校生活アンケートの結果から、生徒の充実感や達成感が高いことがわかった。</li> <li>・ 今後も生徒の充実感や達成感がより向上する工夫を続けていきたい。</li> </ul>
		部活動への参加率向上を目指し、やめさせない工夫をする。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒数の減少もあり、チームスポーツの部活が単独チームで大会に参加できていない状況が続いているが、合同チームでの大会参加や練習を工夫することで部活動への参加意欲の向上が見られた。</li> <li>・ 今後も生徒の実態に合った活動にして充実させていきたい。</li> </ul>

	④安心安全な学校生活を推進する。	いじめを防止するため、組織的に対応する。	<b>A</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数教育により、コミュニケーションの苦手な生徒が多いなかでも、生徒の異変に早期に気づくことができ、さらに情報共有を密に行うことでいじめ防止に努めることができた。</li> <li>・生徒が安心して成長できる環境づくりを、今後も取り組んでいきたい。</li> </ul>
		多様化する生徒への対応を推進する。	<b>B</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年会等で生徒の情報について共有を重ねることで、それぞれの生徒に合った対応の実現を行うことができた。</li> <li>・今後も生徒の現状に合った対応の実現に向け、多角的な取組を行っていきたい。</li> </ul>
進路指導	①進学指導・就職指導を充実させる。	進学・就職両面において、生徒の基礎学力の向上の工夫と教員間の情報の共有化を図り、適切な指導ができるようにする。	<b>A</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進学・就職指導として、希望校への合格・資格取得を目標に補習や対策講座を実施した。また、補習と外部の模擬試験を連携させ、学習をすれば成果が出るということに重点を置き、基礎学力の向上を図った。今年度は、5名全員が希望校に合格した。</li> <li>・就職指導として、教員間で事業所に関する情報共有を図り、生徒の希望と適性に応じた受験先の検討と合格への指導を行った。また、3年生全員に対してST後のテストや週末課題を課し、基礎学力の向上を図った。今年度の1次内定率は、94%であった。</li> </ul>
	②低学年から進路意識を持たせる。	進路行事を積極的に活用する。	<b>B</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターンシップ、大学や企業の見学などを通じて、低学年から進路意識を持たせるようにした。特にインターンシップについては、充実した体験となるように、事前に、挨拶やマナー、時間厳守などの大切さを重点的に指導した。参加生徒（1年16名、2年23名）はそれぞれの事業所（10箇所）で概ね良い評価をいただいた。</li> <li>・今年度は、1・2年生向けの行事として企業訪問・見学を行うキャリアステップデイを設定し、1・2年生8名が参加した。参加した生徒は企業について深く学び、また自らの進路について考える良い機会となった。今後も、こうした行事を積極的に設定していきたい。</li> </ul>
保健厚生	①ボランティア活動の継続と充実を図る。	ボランティア活動を充実させる。	<b>A</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大地の丘ボランティアは計画通りに行った。全教員でボランティアの引率を行った。</li> <li>・今年度から清掃ボランティアを不定期開催にした。年間で9回のボランティア活動を開催し、延べ134名が参加した。</li> <li>・高校生ボランティアアワードでは、UFFの生徒たちが主体となってポスターを作</li> </ul>

				<p>成し、応募した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内海山海防災連絡協議会と連携し、黒潮祭で防災に関するブースを作成した。</li> <li>・美浜町社会福祉協議会主催の子ども café というイベントに、1名の生徒がボランティアとして参加した。</li> </ul>
	②生徒委員会活動の充実を図る。	<p>美化委員会の活動で生活環境に対する意識の向上を図る。</p> <p>保健委員会の活動で自らの身体や、健康情報に関心をもたせるように工夫する。</p>	<b>B</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花壇の整備を美化委員とボランティアの生徒で行った。</li> <li>・清掃道具の点検を行い、整備を行った。</li> </ul>
	③相談活動の充実を図る。	<p>スクールカウンセラーと連携し、相談活動を行う。</p>	<b>B</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カウンセラー、学年、担任、養護教諭、相談担当と連携し、必要とする生徒にカウンセリングを受ける機会を提供できた。</li> <li>・カウンセラーだよりを毎月発行していただいた。</li> </ul>
1 年	①規範意識の高揚、基本的生活習慣の確立を図る。	<p>ルール・マナーを守らせる。</p>	<b>B</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校則を含めたルールを守るという意識は、これまでの学年よりも高く感じる。行事に関しても、ルールが分からない場合は教員に確認するなどの行動が見られた。ルールを守るだけでなく、より良く見えるような行動ができるように指導していく。</li> </ul>
		<p>生活リズムを整えさせる。</p>	<b>A</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・GW、夏休み、冬休みといった長期休みに毎回生活記録簿の課題を実施し、それをもとに面談で確認した。生活リズムの乱れている生徒が多いが、反省と改善につなげている生徒を多く見ることができた。来年度も引き続き生徒への声掛けを行っていく。</li> </ul>
	②学習習慣の充実を推進する。	<p>提出物・課題の提出期限を守らせる。</p>	<b>A</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担任を中心とした粘り強い指導のおかげで、提出物への意識は高い。今後は、やらされる課題から課題を使つての自主学习へと発展させていく。</li> </ul>
2 年	①進路実現を意識した行動を推進する。	<p>自己理解、他者理解を深める。</p>	<b>A</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事を中心に自己理解・他者理解を促す声掛けや振り返りを実施した。声掛けに対し直ぐに理解できていない場合もあったが、繰り返し行うことで自他を理解している様子が多く見られるようになった。</li> <li>・次年度は自己理解をより一層深めさせ、自分に合った進路決定へとつなげさせたい。</li> </ul>
		<p>規範意識の高揚、皆勤率の向上を図る。</p>	<b>B</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・節目節目に自他を尊重させる声掛けを行い規範意識の高揚に努めたことで、多くの場面でルールやマナーを意識した行動をしている様子が見られた。</li> <li>・皆勤の人数は10/40人(昨年度3人)となり昨年度よりも増加した。しかし、決して多い人数ではないため、次年度は体調管理を促し、休まず学校生活を送るこ</li> </ul>

			とのできるようにさせていきたい。皆勤率 50 パーセントを目指す声掛けと工夫をする。
	②コミュニケーション能力の育成を図る。	TPOに応じた言葉遣いを意識付けさせる。	<b>B</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手より先に挨拶を行う生徒が増え、相手を明るい気持ちにさせる挨拶をする生徒もいた。</li> <li>・敬語を上手く使えない生徒と自分の考えを言葉にできない生徒がまだまだ多いのが、次年度の課題である。</li> </ul>
3 年	①進路の実現を図る。	基礎基本を大切にし、基礎学力の向上を図る。	<b>B</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の学習時間を利用し、就職・進学試験に向けた問題集に取り組み、基礎学力の向上を図った。就職試験においては基礎学力の対策の効果を出すことができた。1・2年時の基礎学力の積み上げとその発展が重要であるとする。次年度以降は低学年時の基礎学力向上を目指したい。</li> </ul>
		進路意識を高めさせ、進路指導を充実させる。	<b>A</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種ガイダンスや黒潮タイムを利用して進路意識の向上に努めた。就職・進学の1次内定（決定）率は95%であった。</li> </ul>
	②信頼される社会人として必要な能力や習慣の育成を図る。	皆勤率の向上を図る。	<b>A</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・皆勤率は3年次に入ると飛躍的に向上した。就職や進学に影響することを強く伝え続けた結果、学年皆勤の人数も伸びた。進路と学校生活の結びつきを今後も伝えていきたい。</li> </ul>
		身だしなみルールの徹底を図る。	<b>B</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員側の働きかけがなくとも、生徒自身が考えて身だしなみを整えることができた。</li> <li>・一方で期日などをしっかりと確認し準備するといった行動ができない生徒への働きかけが必要となってきている。</li> </ul>
		コミュニケーション能力の育成を図る。	<b>B</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒同士のコミュニケーションが活発に行われている一方で、問題が起こった時に自分たちで話し合っ解決することができず、教員に頼りきりになる事象が生徒間で多発した。数か月後に社会人になることを強く自覚させ、言葉の大切さを伝えていきたい。</li> </ul>